





(道之育體)

道(又一體育哲學之道案内)

スル依田直伊ガ理想即チ余ガ言志之太要也
トハ體育哲理的心眼ヲ以テ人生ヲ觀察スル所ノモノナリ。



NSCH. THE PERSON. LA PERSONNE.

○藤樹水子曰、人無高下心有高下、因無善惡故有善惡。
○古歌曰、雨説雪氷水と、たつれど、雫つれば同じ谷川の水。
○紫雲和尚の歌に、西行も、牛も、おやも、何にもかも、土の味はなる宿宿街道。
○津井公曰、彼レモ人ナリ我レモ人ナリ、人我同人ニシテ、自他平等ナリ、故ニ而カモ至聖至公ハ一殿同ナリ。
○古歌曰、人間ノ身體ハ四大ヨリ成ルト、四大トハ地水火風ノ四ツヲ云フ。
○古歌曰、何れを我とせばはむ、かりたし土水火風はむたつた。
○馬子曰、惟人也得其秀、而最靈也。
○石塚左近曰、人は是れ其の物に、すぐれたる勝れまわさむ、はた其の人の。
○佐藤一孝曰、均シク是レ人ナリ海橋ナレバ弱ナリ、一旦因習スレバ強ナル、意ニ極くべ柔ナリ、一旦激發スレバ剛ナル、氣質ノ變化スルコト此ノ如シ。

●古歌曰、雨や風晴曇りぬる雲の上に高く照る日の光り常
●古歌曰、梅が香を櫻の花に、もたせつゝ柳の枝に咲かせて
●藤樹大師曰、六根清淨形體自清淨也、六根健壽形體自健壽也。
●静慮静想無念無想、又曰、不死守死、死守不死、是其動機活法ヲ認ラザルハ以テ體育ノ大法ナリ。
●大田元貞公幹曰、醫者ノ病ヲ治スルト云フコトハ人人皆知ル、醫者ノ病ヲ治スルコト云フコトハ世人ノ之ヲ解セズ醫者ノ身體ノ病ヲ治スルニ外科ナリ、儒者ハ心ノ病ヲ治スル内科ナリ、心ノ本體ハ混然タル至善、道ノ本源、梅ノ區城ナリ然ルニ心ニ百病アリト雖モ其因ハ唯一ナリ、一トハ何ゾヤ欲ナリ、是レ吉益爲則ガ云ヘル萬病一毒ナリ欲ノ一毒種種ノ名相ヲ變テ四百四病トハナレリ喜怒哀樂モ欲ノ變相ナリ欲ヲ得レバ喜ヒ樂ミ欲ヲ失ハバ怒リ哀ム去レバ喜怒哀樂ノ類ハ五勞七傷ノ内傷ナリ淫聲美色鮮衣珍食ノ類ハ風寒暑濕ノ外傷ナリ是ヲ能ク治メ人情ヲ正シ人倫ヲ得セシムルハ是儒者ノ職ナリ伊尹周公ハ扁鵲倉公ナリ天下ヲ治ムト云フモ法在制度モ實ハ天下ノ人心ヲ治ムルナリ天下ヲ治ムト云フモ天下ノ人心ノ亂レテ父ヲ弑シ君ヲ弑スルニ至ルナリ然ルニ今ノ世ノ學者ハ人ノ病ヲ治セザルニミカハ人ニ淫蕩ノ病毒者ノ病ヲ生セシメテ身家ヲ亡スニ至ラシムルハ醫ノ疾ヲ治スルコト能ハズシテ人ノ命期ヲ促カス者ト一同ノ戮民ナリ、ト余ハ言フ實ニ此病者ヲ善ク兼テタルモノト神聖ナル體育家ト云フ故ニ神聖ナル體育家トシテ欲サバ余ガ教ヘ導ク所ニ從ハザレバ最モ不可ナリ。

身性

●體育曰、人間ハ心身ノ兩性即チ動靜二元ノ相調相合ヨリ成立セラル、モノナリ斯ルガ故ニ其人間ヲシテ圓滿ニ育成セシメンニハ能ク其心身動靜兩性ノ相調相合ノ理ヲ明カニシテ以テ其誠ニ下ニ示スガ如キ神聖ナル教育法ニヨリテ全ク偏傾ナキコトヲ要ス而シテ殊ニ吾人人類ノ體性ノ發育ヲシテ圓實ナラシメントスルニハ須ラク其相調相合ノ理ヲ明カニシ其相合ノ由ヲ察カニシテ以テ一舉一動一措一置能ク余ガ所謂體育學ニ質ダシ以テ事ノ誤ラザルヲ明ニセヨ尙ホ併セテハ吾人人類ニハ男女ノ異性アリ又各幼少壯老年ノ年機アルコトヲ特ニ配應セザル可ラズ焉。
●語曰、吾人ハ既ニ心ト身トノ關係アルコトヲ認メタレバ更ニ又心ノ運用法ガ身ノ健康上或程度迄ハ影響ヲ及ボスコトアルベシト信ズルナリ即チ身體ノ動作ノ種類ニ因リテ心ノ作用上ニ種別ヲ生ズルト同様に心ノ作用上ニ種別ヲ生ズルニ如何ナルカ其人ノ性質ニ依リテ種別アルベシト雖モ其練習ノ確信トニヨリテ小ヨリ大ニ短ヨリ長ニ及ボスベキモノナリトスルコトヲ得ベシ是ヲ以テ平生其身體ヲ健全ニ保シ長ベカラザルモノナリ。
●藤樹大師曰、人ハ其境遇及ビ心意ノ作用並ニ形體ノ動作ノ上ニヨリテハ相調相合ニ來ルモノナリ天相モ壽相ニ壽相モ天相ニ、強相モ弱相ニ、弱相モ強相ニ壽相モ弱相ニ弱相モ強相ニ、腎相モ心相ニ、心相モ腎相ニ壽相モ弱相ニ弱相モ強相ニ、形體ノ動作如何ヨリ其影響ヲ形體ノ上ニ及ボシ形體ノ動作如何ヨリ其影響ヲ心意ノ上ニ及ボシ此レ其證ナリ。
●動靜、語曰、心ハ常ニ靜ニ住シテ明月ノ皎皎トシテ寂照スルガ如クナルベシ、タトヒ癡婬妬癆ノ折リ折リ遮キルコトアルモ本來ノ面目ニ於テハ些少ノ變態アルベカラズ、靜ハ萬機萬累ノ含著スル所ナリ、シカレドモ活動ト含著スルコトナキノ靜ハ枯ナリ死ナリ、鎮靜ト含著スルコトナキノ動ハ狂ナリ亂ナリ皆共ニ中正ノ妙用ヲ闕クモノナリ動ニシテ靜ヲ離レズ靜ニシテ動ニ離レズ萬機萬累、妙用神通、其宜シキヲ得ルモノアラソ、青山ハ元ヨリ動セザレドモ、白雲ノ自カラ去來スルハ山ノ妙態ナラズヤ、動靜ノ二相不離不即ニシテ運用無邊ナリ。
●古歌曰、雲晴れ後の光りと思ふなよ固より空に有明の月。
●古歌曰、雨や風晴曇りぬる雲の上に高く照る日の光り常住。

動性ヲ有スルモノニシテ形體ナリ即チ動性ニシテ形體ヲ有スルモノナリ
形體の疾患即チ身病アリ體育上ノ大害タリ療養セシメザル可ラズ。

●胎内教育法
●胎外教育法
●胎内胎外教育法
●胎内胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法
●胎内胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外胎外教育法

●古語曰、保嬰之道ハア可シ、天下ニカヘニ比ス、親ニツカフ
●古語曰、守執爲大、守
●古歌曰、かく事人ノ
●獨英字外曰、人ハ人ラ
●古語曰、温古知新、
●學洋公曰、凡テ事物ヲ微今ナラザル可ラザル
●曰、人之欲、莫大於大低血氣旺盛、心識將以有所期於他口、所謂淫慾亦從而生焉、是耽、其則空房獨淫焉、初稱英敏奇才爲天昏狂癡之鬼、蓋之所致也、予又以謂其妍姪、逞一時之快平、今也國家際運、材、然而中道遂敗者淫慾、而其害亦莫大於色求婚者。
●ホレス曰、情慾ヲ省心録曰、慾多クシテ
●獨英字外曰、吾人國運ムルト同時ニ最モ古育ニ努力奮勉セザル可ル勢力ハ事ノ現不現ニベキ最モ雄大ナル活動
●古歌曰、可愛くは五ツ
●家庭教育及學校
●伊曰、唯く愛の善ク
●我孝謙曰、天下ノ事物テ未ダ究メザルアル、ヌ是レ亦人類トシテノ
●獨英字外曰、語ニ云フキニアラズシテ却テ近ズシテ却テ離ラレザル



























依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

動性的實際法

動性的實際法ノ目的ハ健全發育トシテ其本末ヲ辨知ス...

靜性的實際法

靜性的實際法ノ目的ハ健全發育トシテ其本末ヲ辨知ス...

武育的運動法

武育的運動法ノ目的ハ健全發育トシテ其本末ヲ辨知ス...

武育的運動法

武育的運動法ノ目的ハ健全發育トシテ其本末ヲ辨知ス...

依田の體育學ト依田の實際法トニ依リテ以テ學術即チ體智德體美ノ諸徳ヲ兼備シ自悟自得シタル所ノ斯道ノ餘人家傑ヲ云フモノナリ...

體育之道

體育之道ノ要義トシテ其本末ヲ辨知ス...















有七シメ健賢習智ナル彼岸ニ到達セシムベキ  
ル所ノモノヲ云フモノナリ。

自重健賢習智ハ心曠精神ノ獨立自健賢習智  
ノ一部分ノモノニハ相違ナキモ全ク同  
モノナリ故ニ余ハ育ヲ理趣の運動ハ人ノ上ニ

此ハ余ガ所謂眞誠ナル體育教育の運動法  
以上兩者ノ範圍ニ於ケル運動の  
方便ハ實ニ多クナリ故ニ其  
立上るべきニ其趣ヲ述ベル

體育教育の運動法  
以上兩者ノ範圍ニ於ケル運動の  
方便ハ實ニ多クナリ故ニ其  
立上るべきニ其趣ヲ述ベル

可ラズ、而シテ  
體育教育の運動法  
以上兩者ノ範圍ニ於ケル運動の  
方便ハ實ニ多クナリ故ニ其  
立上るべきニ其趣ヲ述ベル

ノ宜キヲ得ント欲スル者ハ事ノ實例ヲ探リ  
事ノ得失ヲ見テ判斷力ヲ強メテ事ノ是非ヲ  
タル所アリ即チ科學ハ發見スルニ止マリ技  
ト能ハザルモノナレバナリ、雖然苟クモ體

能ハズ唯心ニ覺テノ唯意ニ悟ルノ故ニ  
ノ一二手腕ニ存スルモノナリ噫嘻茲ニ是ノ  
能ハズ唯心ニ覺テノ唯意ニ悟ルノ故ニ  
ノ一二手腕ニ存スルモノナリ噫嘻茲ニ是ノ

的快樂、精微的快樂、肉體的快樂、物質的  
風熱濕火燥寒、地質、地理、地象、地味、  
文身、毛髮、笑語、欠伸、廣帯、腹帶、

居制、男女同衾、老幼同衾、握手、接吻、  
育の玩具、膺育の玩具、美育の玩具、曉  
問、技藝、藝術、小説、圖畫、盆裁、植

實行スルニ當リテハ須ラシ醫理的ノ旨

古人曰、天下ヲ動かサント欲スルモノハ先ツ自カラ動カザル可ラズ。  
一書曰、士當侍在己者、動天旋地極大事業、亦都自一己締造。

世人ハ單ニ一隅ノ運動ノミヲ寸見シテ是レハ川子ニ適當スルトモ女子ニハ不適當ナルトカ、何  
トカ黒人風ノ素人ガ野蠻シツツ、アルガ余ニ言ハセタラバ、士蓋此評語ガ不適當ナルトカ、何  
イカニモ多クノ中ニ其味ヲ悟ラズ、アルガ余ニ言ハセタラバ、士蓋此評語ガ不適當ナルトカ、何  
以前ニ於テ不都合ト見做シタルモノ、其ヤリ様方ニ依ツテハ却テ都合トモナク、ハナイノミナラズ

ツ、アルモノナリ、若シ然ラズシテ單ニ一方ニ偏シカ學理家ハ或ハ學理ノ一隅ヲ知ルコトアルモ  
亦其實際ノ妙味ヲ悟ラズ、若シ然ラズシテ單ニ一方ニ偏シカ學理家ハ或ハ學理ノ一隅ヲ知ルコトアルモ  
云テ知ラズシテ手眞似足眞似トシテ、其味ヲ悟ラズ、若シ然ラズシテ單ニ一方ニ偏シカ學理家ハ或ハ學理ノ一隅ヲ知ルコトアルモ

余ハ育ヲ理趣の運動ハ人ノ上ニ  
此ハ余ガ所謂眞誠ナル體育教育の運動法  
以上兩者ノ範圍ニ於ケル運動の  
方便ハ實ニ多クナリ故ニ其  
立上るべきニ其趣ヲ述ベル

以上之所説ハ梗概ナリ尙ホ他日ヲ期シテ詳述スベシ。

直伊曰、若シ以上所説ノ法ニ依ラズシテ、  
成ニシテ、若シ以上所説ノ法ニ依ラズシテ、  
直伊曰、若シ以上所説ノ法ニ依ラズシテ、

大日本帝國中央教育會理事  
大日本帝國中央教育會理事  
大日本帝國中央教育會理事

總理 依田直伊  
DAIICHI YODA  
大世界的體育教育者  
大世界的體育教育者  
大世界的體育教育者

余依田的體育學之創建者也  
余依田的體育法之主導者也  
余依田的體育館之創設者也  
余依田的體育省之首唱者也

人ごと一つの癖はあるものを  
我にはゆるぎ體育の道。



